



第2660地区



WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創 立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋 1-7-3 (〒542-0086) 北炭屋町ビル
Tel. (06)6244-1008 Fax. (06)6244-1010

Web: <http://sembarotary.club/> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp

例 会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel. (06)6244-1111

会長: 澤田 宗久 幹事: 岡本 茂 会報広報委員長: 日比 敬史

四つのテスト/言行はこれに照してから

I. 真実かどうか II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1215回 例会 2015年(平成27年)10月26日

(経済と地域社会の発展月間/米山月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 北野 克己 SAA)

○ ロ-タリ-ソング 「船場ソング」

○ 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告

○ 卓 話 「映画づくりに見える“人を思いやる心”とは」 田中 光敏 様

○ 指名委員会 6階「橋の間」13:40～

前回(10月19日)例会記録

◇プログレス 片岡 清夫 副SAA

~~~~~  
・ 山口さんちのツトム君  
・ 夕日  
・ もみじ  
~~~~~

1. 来客紹介 大磯 隆一 親睦委員

ゲスト:3名 地区外:0名 地区内:3名 合計:6名

ゲスト:八尾RC 会長 村本 順三 様 副会長 笠井 実 様 地区研修委員 井川 孝三 様

2. 会長の時間 澤田 宗久 会長



この度、地区戦略計画委員会より、「クラブ戦略計画委員会」についてのアンケートのお願いが届いて参りました。

発足済のクラブにお伺いしたいとのことで、船場RCは推進する具体的活動内容として、以下の5項目を上げました。

1. クラブの中・長期的な目標・方針の立案と実践の検討
2. 会員増強・維持・会員研修方法・高齢化対策
3. 社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕活動の今後の在り方
4. クラブ活動のクラブ内及び対外的な広報の進め方
5. 自クラブの例会出席率向上の為の方策を検討

戦略委員会は、地区並びにIM7組の運営方針であります。

船場RCも9月の理事会で承認を得ましたので、戦略委員会を発足し、今回2回目の戦略委員会を15日(木)に開きました。

戦略委員会のメンバーは、会長・副会長・会長エレクト・パスト会長・幹事・次期幹事・パスト幹事の8名で構成されています。

これからの船場RCのあり方、方向性について決めるとても重要な委員会ではありますが、実際のところ、役員3名しか集まらず、自分自身の不備と先行きが案じられ、とても寂しい気持ちになりました。

会員の皆様方で、意見があればどしどし言って頂き、開かれた会務を運営していきたいと願っていますので、宜しくお願い致します。

2回目の戦略委員会では、毎月理事会の後の夜に委員会を行い会場設営、並びに進行はメンバーで持ち回りにすることを決定いたしましたので、皆様方のご理解宜しくお願い致します。

尚、戦略委員会で決めた内容につきましては理事会にはかり、承認を得た後に、実行して行きたいと考えています。会員の皆様方には例会を通して随時ご報告いたしますので、ご理解とご協力宜しくお願い致します。

本日、八尾RCの村本順三会長、笠井実副会長、井川孝三地区研修委員が、船場RC澤田会長就任の激励とご挨拶に来て頂きました。

八尾RCと船場RCとは、バヌアツ・フィリピンへの奉仕活動において、ご縁があります。各地での歯科医療奉仕活動を行う時、毎回歯ブラシを買って持って行っていましたので、当時は大変な出費をしておりましたが、元ロータリアンの新田様のご紹介で八尾RCの佐野様にお世話になり、ハブラシをご寄附して頂けることとなり、その後毎年継続して頂いております。

2001年には、八尾RCと柏原RCとのコラボで、青森県で使っていた救急車を移動診療車に改造して、バヌアツ共和国の保健省に寄贈いたしました。2005年には、バヌアツ・マレクラ島に図書館を建設、国の全小学校に届くように、5万本の歯ブラシを寄附して頂きました。

2010年には、WCS事業として八尾RCと船場RCのコラボでバヌアツ・タンナ島・マレクラ島・ウィリピブ島の小学校に文房具を寄附致しました。

又、今年はバヌアツに大型サイクロンが襲来し、多大な被害をうけました。その復興支援の為、バヌアツ・ポートヴィラRCと八尾RC、生駒RC、船場RCの共同で、国際RCグローバル基金を使って、バヌアツの学校支援事業としてアキマ小学校の水と衛生設備支援を実施し、安全な飲み水の供給と公衆衛生の向上を図る計画です。

今後共、お互いの友好関係を深めて行きたいと願っておりますので、皆様方のご理解を宜しくお願い致します。

3. 幹事報告 岡本 茂 幹事

1. 秋のライラの登録は、当クラブは3人で済ませたところですが、親クラブである大阪心斎橋RCがホストであることや過去の経緯、また松田会長からも要請がありましたので全員登録し直すことを理事会で了承いたしました。ご承知ください。
2. 日比会員については、社内の事情から会員としての継続ができないことから9月末日で退会届が出ております。先日の理事会で諮り、11月度の理事会で承認する運びです。
3. 2015年版のロースターの中で、一部落丁がありました。本日メールボックスに差し替え分を入れております。お詫びし、訂正いたします。

4. 委員会報告

◎親睦委員会 中村 一 委員長

10月31日(土)開催の「秋の家族懇親会・バーベキューパーティー」にご参加頂く方は時節柄大変冷え込むことも考えられますので、服装には十分ご留意下さいませようお願い致します。

また、同日ご参加の会員、又は、ご家族の方で遅れて参加となる方は事務局までその旨をご一報下さい。

地下鉄中央線・コスモスクエア駅までバスにてお迎えの手配を致します。

5. ニコニコ箱報告 松永 修 親睦委員

清水 会員……職業奉仕フォーラムです。よろしくお願いします。

中村 会員……10月12日(祝日)体育の日、大学3大駅伝の1つ、出雲駅伝で青学チーム6区間の内、長男(2回生)が2区で出場し、チームは優勝しました。ご声援ありがとうございました。

高階、新川、杉浦、松永、藤野、宮原、片岡、今泉、北野、井澤、栗原、平山、俣野、岡本(真)、小山、長沼、渡辺、小島、大嶋、松谷、大磯、

各会員・・・出雲駅伝 青山学院優勝 中村会員おめでとう！

6. 出席報告 片岡 清夫 副 SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 30名 出席率 79%

第1212回(9月14日) 修正出席率 92%

7. 職業奉仕フォーラム 「職業奉仕とは何か」 清水 清一 委員長



4月11日の地区研修協議会で今年度の職業奉仕の地区活動方針が出されました。今年度は「それぞれの職業を通して奉仕を」とあり、その活動計画も提示されました。

地区協議会での部門別会議と職業奉仕委員長会議の実施

各クラブ活動の報告を頂くためのアンケートの実施

I.M 毎に委員会で担当者を決め各クラブの窓口とする

入会年次の浅い会員用に職業奉仕の入門書、又その事例集の作成 原則毎月1回の委員会の実施

以上の計画をもって各クラブに実施を呼びかけることが決められました。

当クラブの委員会の方針としては先に発表しておりますが、その方針に付け加えるならば職業奉仕とは自らの職業においてより高い職業倫理を持って、行動規律を守りその仕事に当たることが職業奉仕という形で表れています。この意識をもち様々な奉仕活動に参加することが職業奉仕であり、ロータリーの活動の根幹をなすものでロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあると言われています。

ここで我々クラブの会員の構成をお話します。

チャーターメンバー 30% 20年以上 13% 10年以上 20% Total 63%

3年以上 26% 3年以下 11% で構成されています。

又、委員会フォーラムは5つの委員会が毎年1回あり、会員の皆様には毎年同じフォーラムに参加され最も多くは27回にもなっております。私は何回聞いても良いと思っております。ただ一つでもフォーラムに参加し自分なりに考え、奉仕活動の実践を行うようになれば必ず前進していくと信じております。一方3年以下 10%程度の会員の方に対してはこのフォーラムに参加して理解を深めることだと思っております。

次に職業卓話についてであります。我々のクラブでは年間13名程度の方々に実施して頂いておりますがその趣旨を今一度考えたいと思っております。職業奉仕卓話であるようにその卓話は会員相互の職業の理解を深めるだけではなく、会員自身の職業倫理に対する考え方やその奉仕活動に対する思い、経験などの卓話をして頂ければクラブ研修の場になるのではないかと考えます。

さて、本題にあります「職業奉仕とは何か」について話に入ります。地区の第2回研修会においてロータリーの樹という概念について話を頂きました。ロータリーの樹は根の中に奉仕の理念、職業倫理運動の理念、ロータリーの目的等があり、その樹の幹が職業奉仕であり、その枝葉にはそれぞれの奉仕活動があるという構成であります。又、職業奉仕を言葉で言うならば「職業」と「奉仕」の2つの言葉からなっております。「職業」とは「天職」という考えもありますが、基本的にはお金を儲ける手段であり自分のために行うことであります。一方「奉仕」とは世の為、人の為に自分以外の人に何かをする事であり、職業と奉仕は対極に存在するものであるというのが一般的な考え方です。しかしロータリーでは職業を営む「心」つまり、お金を儲ける「心」と世の為、人の為に奉仕する「心」とが同一の「心」と考え、その心で職業を営み奉仕する。世の為、人の為に奉仕する心をもって、高い倫理をもち職業を営むとロータリーは語っています。つまり「利己と利他の調和」を創り出そうという人生哲学がロータリーであり、ロータリー運動が職業人の倫理向上運動と言われる所以であり、職業奉仕では高度な倫理が求められます。適度な利潤を得て自分の職業を通じてサービスを行い社会の為に尽くすことこそが職業奉仕の概念であります。そのあり方は個人のサービス(アイサーブ)を主眼とし特にクラブ間や業界においてもサービスができるのは会員個人において他には誰も出来ないのだという認識が必要であります。決してウイサーブで行なうものではありません。一人一人が組織とは関係なく自分自身の心で取り組む以外には方法はありません。一方ではコンプライアンス(法令順守)という問題もあります。企業活動においてコンプライアンスはごく当然当り前のことであり、経営基礎をより高い倫理性を追求実現しようとする事が

ロータリー活動の根本になります。

最後に職業奉仕とは自分自身の奉仕の心が職業を通じて社会に奉仕することです。そしてその奉仕活動を行うことにより信用と信頼を自分自身で得ることになり、その反射的效果として繁栄することになります。それが職業奉仕と言われるものでありその受益者が自分自身に帰ってくるのであります。従って個人奉仕である以上ロータリークラブには職業奉仕の実践機能は存在せず職業奉仕の団体というのは概念上有り得ない事になります。職業奉仕とは最初に説明させて頂いたロータリーの樹の根幹にある芯であり、その上に社会奉仕、国際奉仕等それぞれの奉仕活動が存在するものであります。従ってその樹が太くなればなるほど葉が生い茂りその成果は自分自身をより満足させる事になります。職業奉仕活動を更に会員の皆さまと共に学んでいきたいと思っておりますのでお声を掛けて頂いたならば一緒に話をしたいと考えております。我々の活動はより多くの会員に職業奉仕というものの理解を深めてもらえることが活動の最大の目的であると考えます。

☆☆☆ 職場見学 大阪府立大学 植物工場研究センター ☆☆☆

平成27年10月19日(月) 14:10～

大阪府立大学植物工場研究センターへ職場見学に行ってきました。

ここでは現在グリーンクロックス新世代(GCN)植物工場プロジェクトを展開しており、3棟の施設の中でそれぞれ要素技術開発研究、実証栽培研究、量産実証評価を研究されております。

この事業は経済省の産学連携補助スキームを活用しており、多方面から多くの企業の連携で行っております。

既に日産 5,000 株の葉物野菜が量産され、堺市を中心に多方面に販売されております。

大掛かりな設備を駆使して作られているのを見て感心しました。

職業奉仕委員長 清水 清一



☆11月例会予定☆

日	地区行事	司会	プログラム	歌	その他
2	ロータリー 財団月間	藤野	委員会卓話:ロータリー財団	「君が代」 「四つのテスト」	お誕生日お祝い 理事会4階「蘭の間」13:40～ シンガポール RC 歓迎レセプション 31階「カトレア」 18:30～ ※例会場:4階「孔雀の間」に変更
9		藤野	卓話:栗原会員	「船場ソング」	
16		藤野	フォーラム:社会奉仕部門	「それでこそロータリー」	
30		藤野	職奉卓話:俣野会員 伊藤会員	「おおロータリー」	